

推進施策3

農業農村の強靱化に向けた防災・減災対策

【取組内容】

- 農業農村の強靱化に向けて、農業用施設2箇所において整備・更新等を行った。また、とちぎ農業防災メールを活用した防災情報の発信や防災重点ため池等における防災減災対策の体制強化へ啓蒙を行い、ハード面のみならずソフト面でも防災・減災対策を推進することができました。
- 小白井用水地区では、整備当時は石綿管が使用され、石綿は人体や環境への有害性があることから、FRPM管への交換を行い、農業者及び米消費者への健康被害を招く懸念が解消されました。
- 防災重点ため池及び農業用ダムにおいて、耐震対策やハザードマップ公表等の今後の防災減災対策を検討する体制を施設毎に整備し、施設が所在する市町、施設管理者に対して、耐震点検の結果やハザードマップ公表に関する必要性について理解促進を図ったことにより、防災・減災意識の醸成が図られました。
- とちぎ農業防災メール等を活用し、大雨時の適切な施設管理等の防災対策情報を発信し、事前の対策がなされたことにより、災害を防止することができました。



防災減災対策が実施された施設(赤坂堰)

【目標達成状況】

※1 上段は目標値、下段は実績値

目標指標	現状 H26	計画期間※1					年度目標※2 達成状況
		H28	H29	H30	H31	H32	
防災減災事業等で整備・更新等を実施した農業用施設数	38	42 41	43	44	45	47	△

※2 ○…おおむね達成 △…達成できない可能性がある ×…達成は困難

【今後の取組】

- 施設の危険度や緊急度に応じた対策を講じることによる防災・減災力の強化
- とちぎ農業防災メール等の活用による災害防止及び管理者の防災・減災意識の醸成
- 防災重点ため池及び農業用ダムのハザードマップ公表